

フィリピン原子力発電導入基盤整備のためのオンライン研修

フィリピンエネルギー省(DOE)は、IAEA 基盤整備項目(19 項目)についてフェーズ2 段階の必須レベルの到達を主要課題としている。この達成ため同省からの支援依頼を受け、昨年は原子力発電所導入のための基盤整備研修 12 件を実施し、今年度(2022 年度)は5件の研修を提供した。今年度の研修では、エネルギー省(DOE)及び原子力発電プログラム立案の中核である原子力プログラム省庁間委員会(NEP-IAC)から計 393 名の参加者に研修を提供した。

No.	Titles of training	Date and participants number	Month														
			4 2022	5	'6	'7	8	9	10	11	12	1 2023	2	3			
1	Power Grid connecting NPP	6/29	134														
2	Leadership in Management	10/5	66														
3	Localization and Benefit of NPP	10/12	65														
4	Nuclear Power Plant safety	2023/1/17	64														
5	Radiation protection	2023/2/15	64														
	Total		393														
	Philippine Delegation Invitation	Dec03-10	10														

原子力プログラム省庁間委員会の参加の省庁は、エネルギー省、財務省、環境天然資源省、保健省、内務・地方自治体省、国防省、火山地震研究所、原子力研究所、科学技術情報研究所、貿易産業省、国家経済開発庁、国営電力公社、国営送電公社、大統領コミュニケーション運用局等である。

原子力発電導入のための基盤整備研修(電力網)では、原子力発電所からの電力網への要求条件等について説明した。この研修では、上記の機関からの参加者の他、電力及び送配電に関係する組織からの参加があり134名もの参加があった。



研修挨拶で、エネルギー省 Atty. Sharon S. Grain 事務次官(原子力発電利用計画省庁間委員会(NEP-IAC) 委員長)から、今回の研修は、2021年以降で17回目となり、JICAからの変わらぬ人材育成への協力に感謝すると述べた。

以上